

1. 過年度調査との比較

過年度調査との比較について、比較可能な項目について○を示す。

調査質問 番号	質問内容	比較適否			前回(H20) 調査報告 書	特記事項
		平成18 年度	平成19 年度	平成20 年度		
問1-1	環境の実感	-	-	-	p63	
	1 地域レベル	○	○	○		
	2 国レベル	○	○	○		
	3 地球レベル	○	○	○		
問1-2(1)	地域レベルで実感する理由	-	-	-	p70	
	1 地球温暖化が進んでいるから	×	×	○		
	2 オゾン層の破壊が進んでいるから	×	×	○		
	3 酸性雨による被害が広がっているから	×	×	○		
	4 黄砂による被害が広がっているから	×	×	○		
	5 海洋の汚染が進んでいるから	×	×	○		
	6 森林が減少しているから	×	×	○		
	7 砂漠化が進んでいるから	×	×	○		
	8 大気汚染が進んでいるから	×	×	○		
	9 騒音・振動による被害が広がっているから	×	×	○		
	10 悪臭による被害が広がっているから	×	×	○		
	11 都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象が増加しているから	×	×	○		
	12 水質汚濁が進んでいるから	×	×	○		
	13 土壌汚染が進んでいるから	×	×	○		
	14 地盤沈下が進んでいるから	×	×	○		
	15 廃棄物等の発生量が増加しているから	×	×	○		
	16 不法投棄など廃棄物の不適正な処理が増加している	×	×	○		
	17 廃棄物などの最終処分場がひっ迫しているから	×	×	○		
	18 ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染が進んでいるから	×	×	○		
	19 内分泌かく乱化学物質(環境ホルモン)の生物への影響が広がっているから	×	×	○		
	20 原生林や湿地帯などといった手つかずの自然が減少しているから	×	×	○		
	21 人々の生活の身近にある自然が減少しているから	×	×	○		
	22 野生生物や希少な動植物が減少あるいは絶滅しているから	×	×	○		
23 その他	×	×	○			
問1-2(2)	国レベルで実感する理由	-	-	-	p77	
	1 地球温暖化が進んでいるから	×	×	○		
	2 オゾン層の破壊が進んでいるから	×	×	○		
	3 酸性雨による被害が広がっているから	×	×	○		
	4 黄砂による被害が広がっているから	×	×	○		
	5 海洋の汚染が進んでいるから	×	×	○		
	6 森林が減少しているから	×	×	○		
	7 砂漠化が進んでいるから	×	×	○		
	8 大気汚染が進んでいるから	×	×	○		
	9 騒音・振動による被害が広がっているから	×	×	○		
	10 悪臭による被害が広がっているから	×	×	○		
	11 都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象が増加しているから	×	×	○		
	12 水質汚濁が進んでいるから	×	×	○		
	13 土壌汚染が進んでいるから	×	×	○		
	14 地盤沈下が進んでいるから	×	×	○		
	15 廃棄物等の発生量が増加しているから	×	×	○		
	16 不法投棄など廃棄物の不適正な処理が増加している	×	×	○		
	17 廃棄物などの最終処分場がひっ迫しているから	×	×	○		
	18 ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染が進んでいるから	×	×	○		
	19 内分泌かく乱化学物質(環境ホルモン)の生物への影響が広がっているから	×	×	○		
	20 原生林や湿地帯などといった手つかずの自然が減少しているから	×	×	○		
	21 人々の生活の身近にある自然が減少しているから	×	×	○		
	22 野生生物や希少な動植物が減少あるいは絶滅しているから	×	×	○		
23 その他	×	×	○			

調査質問 番号	質問内容	比較適否			前回(H20) 調査報告 書	特記事項
		平成18 年度	平成19 年度	平成20 年度		
問1-2(3)	地球レベルで実感する理由	-	-	-	p83	
	1 地球温暖化が進んでいるから	×	×	○		
	2 オゾン層の破壊が進んでいるから	×	×	○		
	3 酸性雨による被害が広がっているから	×	×	○		
	4 黄砂による被害が広がっているから	×	×	○		
	5 海洋の汚染が進んでいるから	×	×	○		
	6 森林が減少しているから	×	×	○		
	7 砂漠化が進んでいるから	×	×	○		
	8 大気汚染が進んでいるから	×	×	○		
	9 騒音・振動による被害が広がっているから	×	×	○		
	10 悪臭による被害が広がっているから	×	×	○		
	11 都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象 が増加しているから	×	×	○		
	12 水質汚濁が進んでいるから	×	×	○		
	13 土壌汚染が進んでいるから	×	×	○		
	14 地盤沈下が進んでいるから	×	×	○		
	15 廃棄物等の発生量が増加しているから	×	×	○		
	16 不法投棄など廃棄物の不適正な処理が増加している	×	×	○		
	17 廃棄物などの最終処分場がひっ迫しているから	×	×	○		
	18 ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染 が進んでいるから	×	×	○		
	19 内分泌かく乱化学物質(環境ホルモン)の生物への影 響が広がっているから	×	×	○		
	20 原生林や湿地帯などといった手つかずの自然が減少 しているから	×	×	○		
	21 人々の生活の身近にある自然が減少しているから	×	×	○		
	22 野生生物や希少な動植物が減少あるいは絶滅してい るから	×	×	○		
23 その他	×	×	○			
問1-3	関心のある環境問題分野				p89	
	1 地球温暖化	○	○	○		
	2 オゾン層の破壊	○	○	○		
	3 酸性雨	○	○	○		
	4 黄砂	○	○	○		
	5 海洋の汚染	○	○	○		
	6 森林の減少	○	○	○		
	7 砂漠化	○	○	○		
	8 大気汚染	○	○	○		
	9 騒音・振動	○	○	○		
	10 悪臭	○	○	○		
	11 都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象	○	○	○		
	12 水質汚濁	○	○	○		
	13 土壌汚染	○	○	○		
	14 地盤沈下	○	○	○		
	15 廃棄物等の発生量増加	×	×	×		
	16 不法投棄など廃棄物の不適正な処理	○	○	○		
	17 廃棄物などの最終処分場のひっ迫	○	○	○		
	18 ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染	○	○	○		
	19 内分泌かく乱化学物質(環境ホルモン)の生物への影	○	○	○		
	20 原生林や湿地帯などといった手つかずの自然の減少	○	○	○		
	21 人々の生活の身近にある自然の減少	○	○	○		
	22 野生生物や希少な動植物の減少や絶滅	○	○	○		
23 その他	○	○	○			

調査質問 番号	質問内容	比較適否			前回(H20) 調査報告 書	特記事項
		平成18 年度	平成19 年度	平成20 年度		
問2-1	環境問題に対する考えや意見				p108	
	1 環境保全の取組を進めることは、経済の発展につな	○	○	○		
	2 日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼしている。	×	○	○		
	3 大量消費・大量廃棄型の生活様式を改めることは重要である。	○	○	○		
	4 環境に配慮した製品やサービスを選ぶことは重要で	○	○	○		
	5 地域の人たちが協力して、その地域の環境保全活動に取り組むことは地域コミュニティの活性化にもつながるので重要である	○	○	○		
	6 大人にも子どもにも、環境保全について理解を深めるための環境教育や環境学習は重要である。	○	○	○		
	7 環境に関わる情報を分かりやすく、効率的・効果的に提供することは重要である。	○	○	○		
	8 我が国が、国際社会において環境面からの積極的な寄与・参加を行うことは重要である。	○	○	○		
9 行政が環境保全に関する施策を進めるに当たっては、施策を考える段階から、国民も積極的に参加できるようにする必要がある	○	○	○			
問2-2	今後の実施意向				p120	
	1 日常生活において節電等の省エネに努める	○	○	○		
	2 日常生活においてできるだけごみを出さないようにす	○	○	○		
	3 不用品をバザー、フリーマーケット、ガレージセール等のリユース、リサイクルにまわす	○	○	○		
	4 ごみは地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにする	○	○	○		
	5 運転の際には、不必要なアイドリングや空ぶかし、急発進はしない	○	○	○		
	6 日常生活において節水に努める	○	○	○		
	7 油や食べかすなどを排水口から流さない	○	○	○		
	8 買い物の際は、製品に含まれる化学物質を成分表示で確認して選んでいる	○	○	○		
	9 自然環境を保全する観点から、皮革製品を購入する際に希少な野生生物の皮革製品かどうかを考慮したり、有機農産物や間伐材を使用した製品を購入したり	○	○	○		
	10 物・サービスを購入するときは環境への影響を考えてから選択する	○	○	○		
	11 地域における環境保全のための取組に参加する(緑化、美化、自然保護、リサイクル、省エネ、地域の計	○	○	○		
	12 体験型の環境教育・環境学習活動に参加する	○	○	○		
	13 講習会等で得た環境保全に関することを実践する	○	○	○		
14 環境に対してよいと思うことを知人や友人に伝えたり広めたりする	○	○	○			
問2-3	環境を守る上で最も重要な役割を担っている主体	○	○	○	p114	
問2-4(1)	エコツーリズムの認知度	○	○	○	p106	
問2-4(2)	自然とのふれあいへの感触	○	○	○	p143	
問2-4(3)	自然とのふれあいを増やすために必要なこと	○	○	○	p148	
問2-4(4)	過去1年間の旅行	○	○	○	p151	
問2-4(5)	上記旅行の意向	○	○	○	p156	
問2-5(1)	環境に配慮した製品について	-	-	-	-	新規設問
	1 省エネ型家電	×	×	×		
	2 環境配慮型自動車	×	×	×		
	3 高効率給湯器	×	×	×		
	4 太陽光発電システム	×	×	×		
問2-5(2)	購入時に重視する点	-	-	-	-	新規設問
	1 省エネ型家電	×	×	×		
	2 環境配慮型自動車	×	×	×		
	3 高効率給湯器	×	×	×		
	4 太陽光発電システム	×	×	×		
問2-5(3)	購入支援	-	-	-	-	新規設問
	1 省エネ型家電	×	×	×		
	2 環境配慮型自動車	×	×	×		
	3 高効率給湯器	×	×	×		
	4 太陽光発電システム	×	×	×		

調査質問 番号	質問内容	比較適否			前回(H20) 調査報告 書	特記事項
		平成18 年度	平成19 年度	平成20 年度		
問3-1	環境問題に関する情報への満足度	-	-	-	p217	
	1 地域環境の情報	○	○	○		
	2 地球環境問題の情報	○	○	○		
	3 環境問題が生活に及ぼす影響	○	○	○		
	4 日常生活が環境に及ぼす影響	○	○	○		
	5 開発事業が周辺環境に及ぼす影響	○	○	○		
	6 環境問題に対する国や地方公共団体の政策	○	○	○		
	7 企業の環境保全に関する取組状況	○	○	○		
	8 企業の事業活動に伴う環境汚染物質、廃棄物などの 環境の負荷に関する情報	○	○	○		
	9 世界的な環境保全の動き	○	○	○		
	10 暮らしのなかでの環境保全のための工夫や行動	○	○	○		
	11 購入する製品・サービスの環境負荷に関する情報	○	○	○		
	12 環境問題に困った場合の地方公共団体等の相談窓 口に関する情報	○	○	○		
	13 環境保護団体の情報	○	○	○		
	14 展示会・講演会・セミナーなどの案内	○	○	○		
	15 自然とふれあうための施設やイベントについての情	○	○	○		
問4-1	国が行っている環境行政への満足度	○	○	○	p238	
問4-2	地方公共団体が行っている環境行政への満足度	○	○	○	p240	
問4-3	国に今後求めること	×	×	○	p242	
問4-4	地方公共団体に今後求めること	×	×	○	p425	
F-1	性別	○	○	○		
F-2	年齢	○	○	○		
F-3	職業	○	○	○		
F-4	居住地区	○	○	○		
F-5	居住地域	○	○	○		
F-6	都市規模	○	○	○		